

Les Ressources du mois

- Mai 2010 -



DVD du mois

Selection de films primés au Festival de Cannes

カンヌ映画祭受賞作品セレクション

五月と言えば、カンヌ映画祭。今月はカンヌの歴史を彩る名作をセレクションしてみました。それぞれの時代を画した作品に浸ってみては？



恐怖の報酬

1953年 グランプリ(パルムドール)



シェルブールの雨傘

1964年 グランプリ(パルムドール)



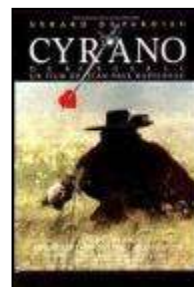
最後の晚餐

1973年 国際映画批評家連盟



悪魔の陽の下に

1987年 パルムドール



シラノ・ド・ベルジュラック

1990年 最優秀男優賞
ジェラルド・ドパルデュー

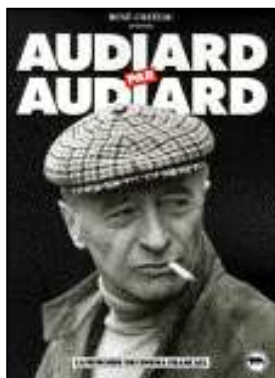
A écouter à tout prix !



Midi 20, Grand Corps Malade

グラン・コール・マラッド、28歳。サンドニではファビアンでその名が通っている。ラッパーでも詩人でもない、スラマー。スラムは、シカゴが発祥の地。詩を朗読する競技（或いは、言葉語りという感じ）で、競技者は自分のあだ名を決めて、自作のテキストをアカペラで語る。ファビアンは、足に麻痺が残り軽く引きずって歩く自分を「笑い飛ばす」ために、このあだ名を選んだ。本物の詩人、現代の詩人。このアルバムは絶対聴いて欲しい!!

A découvrir



Audiard par Audiard

オーディアルによるオーディアル

フランス映画でNO1の台詞作家であったミシェル・オーディアルが亡くなって25年が経つ。彼にとって代わる作家は未だ現れず、その才能と閃きの不在は、現在のフランス映画にとって絶望的ともいえる。この一冊に収録された最高の台詞、テキスト、インタビュー、物議等々によって、決して真似ることのできない独自のスタイルが見えてくるだろう。笑いながら彼はこう言っている。「生きてる時は、控え目でいたいけれど、でも死んだら、私の才能が認められて当然だと思う...」

La BD du mois



La Foire aux Immortels Enki Bilal

不死者のカーニバル エンキ・ビラル作

暗く熱狂的な未来のヴィジョン。ジェオポリティカル・フィクション、不死ということについての考察、そしてボードレールの詩が混然一体となり、ユーモアをきかせた作品。ビラルは、グラフィック面での影響から脱却し、一目でそれと分かるような自分自身のスタイルを確立した。もはや古典とも言える一作。月刊誌「LIRE」で1992年のLivre de l'année（今年の本）に選ばれる。フランス語だけでなく、日本語でも読めます！

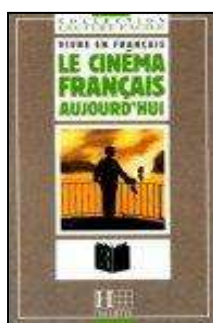
Pour les petits (et les grands...)



Les Fables de La Fontaine .

現代フランスのイラスト分野を代表する30人のアーティストたちが、ラ・フォンテーヌの「寓話」の中の、有名なものからあまり知られていないものまで、それぞれのスタイルで描いた寓話集。 .

En français facile



Le cinéma français aujourd'hui, Jacques Pêcheur

100年前から、フランス映画は、その情熱を失ってはいない。その創造力、革新性、懐の広さ…。フランス物は、受け付けられないという人もいれば、真似できないという人も…。しかし、常に一見の価値あり！